

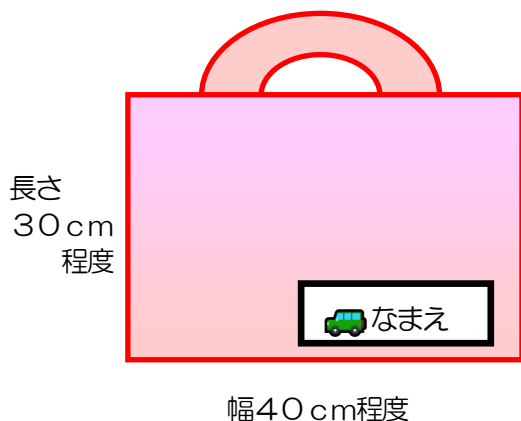
<用品の作り方>

※すべての持ち物に名前を書きましょう。

※未満児、年少児のお子さんは、自分の持ち物が分かりやすいよう、お子さんのマークを付けください。

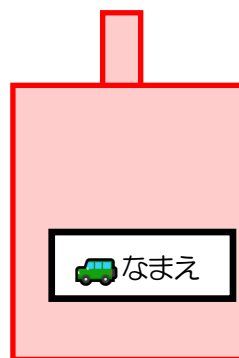
※市販の用品を使っていただいてもかまいません。

1. 手さげ袋 <全園児>



2. 上靴入れ <年少児・年中児・年長児>

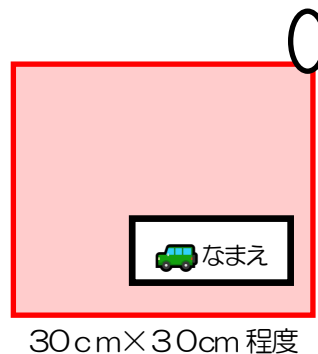
- 上靴入れは、年長児になってからも使えるように大きめのサイズのものと、自分で出し入れしやすくなります。



3. ループタオル <0歳児～4歳児(年中児)>

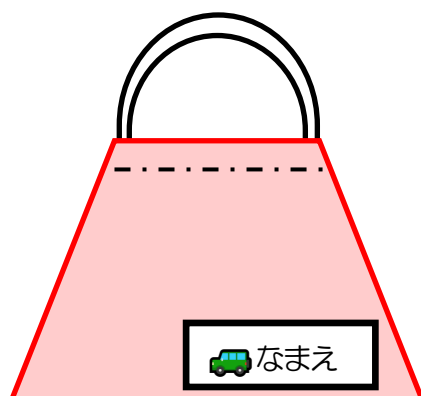
※年長児は、子供達の様子を見てループタオルからハンカチに切替えます。切替え時期については各園にお問い合わせください。

- 手洗い後に使う手ふき用のタオルです。
- ループ付きのタオルを用意してください。
- 毎日持ち帰りますので、2・3枚は作っておきましょう。



4. 食事用エプロン <0. 1. 2 歳児>

- おやつ、食事のときに衣服を汚さないようにエプロンを使います。



- ① ハンドタオル又は、フェイスタオル 1/2 サイズを使用する
- ② 上端を縫ってゴムを通す。
- ③ ゴムの長さを調節する。



一日3枚、使用します。
洗い替えも含めて6枚程度、用意してください

5. 昼寝ふとん・ふとん袋 <全園児>

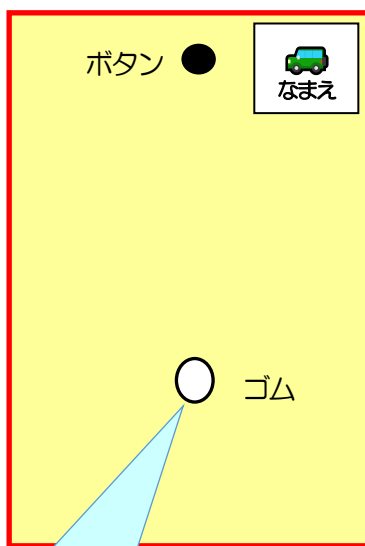
敷布団の厚みは薄めを用意して、三つ折りにしてゴムでとめてください。

敷布団（表面）

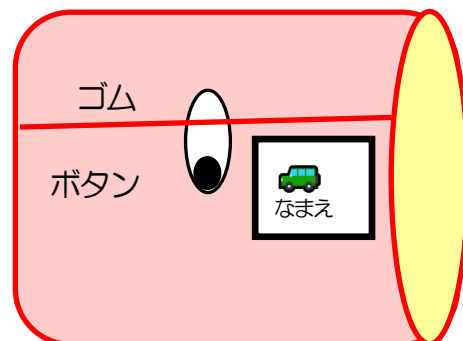


幅65cm程度

敷布団（敷布団）



三つ折り



掛け布団、毛布、バスタオルなどは、敷布団のなかに重ねていれてください。

布団を三つ折りした時に止められるよう、3分の1位の位置にゴムをつけてください。

ゴムが長すぎると、首にまきついて危険なため、ゴムの長さは、ボタンにかかる程度にしてください。



*ふとん袋は、その都度お持ち帰りください。

【昼寝の期間】

- ・未満児・・・一年間
- ・年少児・・・4月から10月まで。
- ・年中児・年長児・・・6月頃から8、9月頃まで。
- ・幼児クラスは、子ども達が自分で布団を敷いたり、片づけたりします。大きすぎる布団、マットなどは、扱いにくいいため、お子さんが畳んだり、運んだりしやすいものを用意してください。
- ・枕は不要です。
- ・掛け布団は、季節に合わせて用意してください。
- （上掛け布団・タオルケットなど）
- ・おねしょシーツ、敷き毛布を使用する際は、敷布団の四隅を固定してください。

